

月刊 ゆがの通信

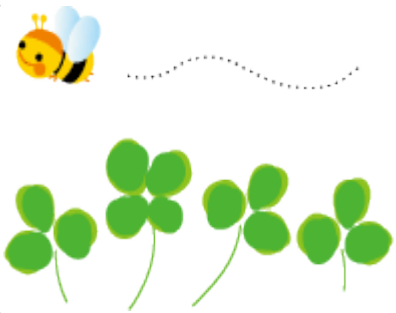
2013年8月号

発行：ゆがの薬局

「いじりごとからだは
ひよひに結ばれしころ

今月はアリゾナ州のトゥーソンで自然医学と予防医学の診察をしているアンドルー・ワイル博士のお話です。

私（博士のこと）は人間のからだには生まれつき治る能力が備わっていると信じています。そしてからだに備わった治る働き、即ち治癒システムの多くの部分を動かすカギはこころが握っているとも信じています。私がなぜそう信じているのかをお話してその理由を理解していただき、あなたにもこのころの力を使って一層健康になっただきたいと思えます。



すいぶん前のことになりましたが、私はどんなクローバー群落でも必ず四つ葉のクローバーをみつける女性に会ったことがあります。群落地に背を向けた彼女は相手の合図で回れ右をし、群

落を見てから一分以内に四つ葉のクローバーがみつかるかどうかを賭け、いつも勝っていた。

目をこらしてもみつけれなかった私は彼女の能力が不思議でならなかった。それまでの私はクローバー群落に目を走らせ、懸命に探してもひとつもみつけれず視界がぼやけてくるのが常だった。やっと一本の茎に四枚の葉がついているものをみつけたと思うといつも二本のクローバーが重なってそう見えただけであることがわかるのだった。ところが彼女と出会って、彼女がみつけるのを見ているうちに私のなかの何かが変わった。

どんなクローバー群落地にも最低一本の四つ葉のクローバーがあり、みつけられるのを待っているという信念が彼女の成功のカギであることに気がついたのだ。そう信じることでみつけるチャンスが生まれる。信じなければチャンスはない。彼女に会った後、私はまた試みてみた。そして、すぐに四つ葉のクローバーがみつかるようになった。ときには一ヶ所で何本もみつけた。五つ葉、六つ葉のクローバーをみつけたこともある。

自発的な治癒は四つ葉のクローバー

のよつなものだ。それは幸運であり、謎のようであり、ときにつかまえることがない。それが起こることを信じなければ、それを経験するチャンスは少なくなる。私の興味のひとつは治癒への信念を深めるために人は何ができるかということにある。

アンドルー・ワイル著

「癒す心、治る力」より



自分は博士が四つ葉のクローバーの立場に立ち、みつけられるのを待っているという発想に驚きました。なるほど、みつけようみつけようと必死に探していたのでは見つからない訳です。自分のからだもからだの側から見ることが大事なのだと気づかされました。みなさんはいかがだったでしょうか。



「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試ください

マイクロダイエット正規取扱店

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150

当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>